

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部

令和五年十一月度 入賞句一覧 投句数 千六百七十八句



特選

星野 勝 選

立ちこぎがはじめて出来た秋の暮

大垣市

石川 結奈 (小三)

作者は小学校三年生の女の子。自転車にはもうとつくと乗れるようになっていたのでもう。でも、できなかつた立ちこぎの練習をずつと続けて、やつとできるようになった時には、もう日が暮れかかっていたのですね。一つのこと集中して取り組んでいると、時のたつのも忘れてしまう経験はだれしもありませう。それがこの句の共感できると思います。秋の夕方、作者が体中で喜びを表す姿が目には浮かびます。ただ、道路ではやらないでくださいな。

金網の上のさんまとにらめっこ

加茂郡川辺町

三品 明日香 (中三)

今年はさんまが不漁で、高級魚と言いたくなるほど高値で売られていますね。そんな高級魚を金網の上で焼いて食べるのは秋のぜいたくの一つかもしれません。金網の上で焼かれているさんまと向き合つて、今か今かと待つている作者の期待感が伝わってくる句です。このあと作者はさんまとのにらめっこに勝つたのでしょうか。まあ、勝ち負けは別として、さんまは作者のお腹に無事おさまつたことでしょうか。

もう一ぱい秋のとんじる具だくさん

大垣市

近藤 帆希 (小五)

だんだん寒くなつてくると温かい食べ物が増えてきますね。秋は味覚の秋、食欲の秋と言われるように、おいしい自然の恵みがたくさん登場します。「とんじる」の具にも、旬の食材がたくさん使われますね。いつにも増してたくさんのおかさんの具が入つたとんじる。ついついおかわりしたくなる気持ち、とても共感できます。「おかわり！」と大きな声で二杯目をせがむ作者の姿が目には浮かんでくるような句になりました。

秀逸

やればしようさけ目のおくに青い空

大垣市

坪田 結宇 (小六)

風が吹き枯れ葉が髪にからみつく

加茂郡川辺町

馬場 岳空 (中二)

いわし雲見上げた僕は腹の中

加茂郡川辺町

藤井 俊輔 (中三)

かめむしをいじめたひとがはなつまむ

大垣市

大森 ひな (小一)

ランドセルおろすともみじひらひらと

大垣市

日比野 さくら (小二)

自てん車でおちばの山につっこむぞ

大垣市

安藤 涼太 (小二)

ハロウインは大人な気分で赤リップ

大垣市

山田 日和 (小二)

帰り道いくぞ勝負だ赤とんぼ

大垣市

藤田 彩花 (小五)

清水坂友と選んだ秋土産

大垣市

戸谷 大亮 (小六)

ていぼうにもみじ広がる赤トンネル

大垣市

林 宥仁 (小五)

# 入選

天高し芭蕉のつえは光りたり	大垣市	山田 悠以(小六)
秋風に静かにゆれるもやい舟	大垣市	市橋 美玲(小六)
どこいくのこの指とまれ赤とんぼ	大垣市	林 琉聖(小六)
川の中ぼつんと映るもみじの葉	大垣市	中村 心咲(小六)
妹と一緒に作る栗きんとん	加茂郡川辺町	武田 菜々美(中二)
赤蜻蛉下校の邪魔をしないでよ	加茂郡川辺町	井戸 風うり(中二)
弟の指さす先に赤とんぼ	加茂郡川辺町	堀井 咲来(中三)
せんべいを買うなり鹿の餌食なり	加茂郡川辺町	赤塚 亮介(中三)
パパまつてぼくととんぼもめがまわる	大垣市	荒谷 桃我(小二)
まけないぞまるでつなひきおいもほり	大垣市	折戸 惺奏(小二)
いちようの葉風にゆられて旅に出る	大垣市	矢野 斗真(小四)
おちばがねいますぐそらへとびそうだ	大垣市	和田 心晴(小二)
葉が落ちて色を失うおうちの木	大垣市	長屋 旺佑(小五)
柿食べてじいじ元気か電話する	大垣市	藤野 泰生(小五)
秋の日にふんよけ歩く奈良公園	大垣市	後藤 楓(小六)
紅葉と共にかがやく金閣寺	大垣市	岡本 陽葵(小六)
うろこぐもそらにもくもくさかないる	大垣市	高坂 翠(小三)
あきのやまどんどんかわるいろがすき	大垣市	戸田 憲伸(小三)
あきあかねたんぼのみずにかげうつる	大垣市	林田 じゅんぺい(小三)
運動会ずっと探した父母の顔	大垣市	安田 悠人(小六)

# 選者吟

閉店の貼紙なびく秋の暮

まさる

# 小中学生の部

